

平成27年5月24日
今週のベストショット



青松園B 三苦フレンズ 対 三苦三球会
打席で八兆飛びの三苦フレンズ寺山選手。

写真：新町パイレーツ 桐島涼

青松園A ライナーズ圧勝！！

雁ノ巣ライナーズ（2勝）530010 9 有馬○、鳥越一鳥越、明瀬航
ブルーマーリンズ（2敗）200000 2 横山祥●、林一横山健

HR：国崎（雁ノ巣） 2BH：久保田、池内（雁ノ巣） 桑野、井上（ブルー）

一回表ライナーズは、ブルーマーリンズ先発横山祥投手の立ち上がりを攻める。一番明瀬旭選手がセーフティーバントで出塁すると、二番明瀬航選手が四球を選び無死一二塁のチャンス。三番が倒れ、四番宇野選手も四球を選び一死満塁とすると、五番久保田選手が2ボールからカウントを取りに来た球をセンター前へタイムリーヒットを打ち先制点を奪う。続く六番国崎選手は、1ボール1ストライクから左中間へ満塁ホームランを打ち4点追加する（国崎選手は早くも8打点目、今年の打点王本命か?）。一方ブルーマーリンズは、立ち上がり制球が定まらない有馬投手を攻める。一死から二番森選手が四球を選び、三番末松選手がセンター前ヒットでつなぐと四番桑野選手が二塁打を打ち1点を返す。デットボール後六番友重選手は四球を選び押し出しで1点追加。こちらも一死満塁と更に追加点のチャンスだったが、有馬投手が踏ん張り後続を抑える。二回表ライナーズの攻撃は、先頭打者の九番池内選手が二塁打で出塁すると、三番中口選手、五番久保田選手（本日3安打の大活躍）のタイムリーヒットで3点を追加する。その後は両チームの投手が好投をみせ試合終了。9対2でライナーズがブルーマーリンズを下した。（記事、写真：奈多サンデーズ 野田俊憲）



ライナーズ先発 有馬投手。



先発ブルーマーリンズ 横山投手。



ライナーズ リリーフ鳥越投手。



ブルーマーリンズ リリーフ林投手



一回表 満塁ホームラン六番国崎選手（今年の打点王本命？）と盛り上がるベンチ



一回表、ライナーズ五番久保田選手。



一回裏、ブルーマーリンズ満塁のチャンス。



二回表、2ベースヒットのライナーズ池内選手。



六回裏、代打攻勢のブルーマーリンズ小柳監督。



代打攻勢その2 ブルーマーリンズ阿部選手。



盗塁を2補殺 ブルーマーリンズ横山健捕手。



戦況を見守るブルーマーリンズ小柳監督。



本日3安打のライナーズ久保田選手。



試合後反省会をするブルーマーリンズ。

雁レク4 両投手互いに譲らず決着つかず

奈多フェニックス (1勝1分) 201000 3

今林(勇)△-実延(新)

奈多クラブ (1勝1敗1分) 000300 3

今林(瑠)△-今林(卓)

HR: 西藤(奈多フ) 2BH: 実延(彰)(奈多フ)馬場口(奈多ク) 盗塁: 今林(勇)×2、高原(奈多フ)

一回表フェニックスは先頭の今林(勇)選手が死球で出塁すると、立て続けに盗塁を決め三塁に進むと三番西藤選手がライトへ2ランを放ち2点を先制する。その後も連続四球で苦しんだ奈多クラブ先発の今林(瑠)投手だったが、後続を何とか打ち取り味方の反撃を待つ。三回表フェニックスは、先頭の四番実延(彰)選手がレフトへの二塁打を放つと、続く実延(新)選手が見事に送りバントを決め、六番今林(英)選手の内野ゴロの間にランナーが本塁に帰り3点目を奪う。三回まで1安打に封じ込められ、何とか反撃したい奈多クラブは、四回裏に先頭の今林(瑠)選手が相手のエラーで出塁しチャンスを作ると、更に続く打者も四球でチャンス拡大。そして四番今林(卓)選手がセンター前タイムリーで、まずは1点を返す。ここでフェニックスの今林(勇)投手も踏ん張り二死まで取るが七番馬場口選手がセンターへのタイムリー二塁打を放ち奈多クラブが同点に追い付いた。六回表、勝ち越したいフェニックスは先頭の実延(新)選手が四球で出塁するも送りバントが失敗し、チャンスを広げられず得点出来なかった。六回裏奈多クラブは、先頭の三番今林(祐)選手が四球で出塁する。続く四番今林(卓)もセンターへ安打を放ちチャンス拡大。しかし五番今林(健)選手のライトフライで二塁走者の今林(祐)選手が飛び出してしまうダブルプレーとなってしまうと、後続も倒れ得点ならずで時間切れで試合終了。最後は両チーム共にミスでチャンスを潰してしまったが、フェニックスの今林(勇)が9奪三振に奈多クラブの今林(瑠)が7奪三振と両チームの投手の力投が光るナイスゲームだった。(記事 : 新町ウインズ 野中一史、写真 : 長岡崇史)



力投する奈多クラブ今林(瑠)投手。



フェニックス先発の今林(勇)投手。



初回、右越え2ランHRを打った西藤選手。



3点目の内野ゴロを打った今林(英)選手。



反撃開始の適時打を打った奈多クラブ今林(卓)選手。



センターへ同点適時二塁打を打った奈多クラブ馬場口選手。

青松園B 三苦対決、三苦三球会意地の勝利

三苦フレンズ（1勝2敗）1 0 0 0 0 0 1 1 生野（拓）●一佐藤

三苦三球会（3勝0敗）0 1 0 0 0 1 2 吉留○一藤沢

三苦同士の対決、一回表先攻の三苦フレンズは一番佐藤選手が幸先良く中安打で出塁すると二番御手洗選手の送りバントにより二塁にランナーを進めチャンスで四番山口選手の中安打で先制点を奪う。追いつきたい三苦三球会は二回裏、五番塚（太）、六番塚（達）選手が四死球で出塁し、七番渡辺選手の送りバントにより一死二三塁となり八番吉留選手のライトフライにより三塁走者が生還し同点とする。その後、互いにチャンスを作るが要所を締める両投手の踏ん張りの前に点の入らない展開になり時間も迫りこのまま引き分けるかと思われたが気まぐれな勝利の女神がほほ笑んだ。六回裏、ここまで要所を締める投球だった三苦フレンズ生野（拓）投手だったが握力が落ちたのか無死からこの日唯一のヒットを三番大津選手に許してしまいワイルドピッチの間に一塁走者の大津選手の好走で一気に三塁に進まれてしまう。ここで抑えたい三苦フレンズであったが気合を入れ投じた球はなんとバックネットへ転がり痛恨のワイルドピッチ。三塁走者が生還し逆転サヨナラとなる。勝った三苦三球会がヒット1本に対し負けた三苦フレンズはヒット5本とどちらかというと攻めていたイメージではあるが勝利の女神は三苦三球会にほほ笑んだ。両投手が制球で苦しむ中、守備陣が懸命に守っていたためスムーズに展開されたゲームだった。（記事、写真：新町パイレーツ 桐島涼）



試合前の三苦三球会円陣。



試合前の三苦フレンズ円陣。



整列、どんな展開になるか？



戦況を見つめる三球会ベンチ。



一回表、送りバントする三苦フレンズ二番御手洗選手。



粘りのピッチングの三苦三球会吉留投手。



一回表、先制打を放つ三苦フレンズ山口選手。



力投を見せる三苦フレンズ生野（拓）投手。



二回裏、同点のホームを踏む三苦三球会堺（太）選手。



追加点の欲しい場面で三塁ゴロの三苦三球会船橋選手。



軽快な守備の三苦フレンズ近松選手。



ライト前ヒットを放つ三苦フレンズ生野（拓）選手。



強烈な打球をお腹に受けた三苦フレンズ山口選手。



軽やかに動く三苦フレンズ福山選手。



打席で八兆飛びの三苦フレンズ寺山選手。



六回表、チーム唯一のヒット放つ三苦三球会大津選手。



ピンチにマウンドに集まる三苦フレンズ。

雁レク軟式6 エースの貫禄！

三友クラブ（1勝1敗）000020 2 足達○、久岡ー西田

三苫ホーネッツ（1敗）000000 0 矢野●ー広木

2BH：西田（三友ク）

ホーネッツ先発の矢野投手は先頭打者を三振に仕留めると、続く二人も抑える完璧な立ち上がり。対する三友クラブ先発の足達投手は、ヒットのランナーが盗塁と悪送球で三進し初回からピンチを迎える。しかし後続を二者三振に仕留め、こちらもエースの貫録を見せた。二回こそ三者凡退に終わったホーネッツ打線だが、三、四回にはいずれも三塁までランナーを進め、後一步のところまで足達投手を追い詰めるものの、決定打が出ない。一方、三友クラブは矢野投手の球威の前に四回までノーヒットと重い雰囲気は漂っていたが、五回に中内選手が初ヒットを放つと、西田選手も二塁打で続き、中嶋選手のライト前で貴重な2点を挙げた。先制した三友クラブ福山監督代行は、すかさず五回裏から久岡投手を投入してホーネッツの反撃を断った。共に3安打の投手戦となったが、五回に安打を集中した三友クラブの会心の一戦となった。（写真、記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦）



三友クラブのエース、足達投手。



熱投、ホーネッツ矢野投手。



ホーネッツの核弾頭、山崎選手



三友クラブの先制であり決勝の得点シーン！



決勝打の三友クラブ八番中嶋選手！



本日のヒーロー中嶋選手と福山監督代行

第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第4週5月24日は4試合が行われました。

青松園Aの雁ノ巣ライナース対ブルーマーリンズ戦は、初回からライナース六番国崎選手の満塁HRを含む5点を先制すると、二回にも九番池内選手の二塁打を足がかりに3点を奪い、早々に試合を決定づける。ブルーマーリンズも20代を要し反撃を試みるも一回裏の2点に抑えられた。チームの若返りが功を奏するのにもう少し経験が必要か？

雁レク4の奈多フェニックス対奈多クラブの実力チーム同士の戦いは、フェニックスが初回西藤選手の2ラン、三回には内野ゴロの間の得点で3-0とするも、四回裏奈多クラブは、エラーと四球で得たチャンスに四番今林卓也選手と七番馬場口選手のタイムリーで追いつく。お互い終盤のチャンスも走塁ミスで潰し、両者ドロー。終盤にこの一戦がどのように響くか？

青松園Bの三苦フレンズ対三苦三球会戦は、1点を争う好ゲーム。1-1で迎えた六回裏、フレンズ生野拓磨投手に無安打に抑えられていた三球会は、三番大津選手が初ヒット、最終的にはサヨナラWPで息詰まる接戦を制した。これで三球会は負けなしの三連勝。フレンズは惜しくも連勝を逃した。

雁レク6の三友クラブ対三苦ホーネッツ戦は、三友クラブ戦をいつも苦戦する昨年2位のホーネッツは、四回まで互いに0行進。迎えた五回表、下位打線が3安打を連ねた三友クラブが八番中嶋選手のタイムリーで2点を先制し、投げては足立、久岡投手の完封リレーでホーネッツの今季初戦の出鼻を挫いた。

五月でありながら30度の真夏日を記録いたしました。この影響で大気も不安定となり、梅雨入り前ですが雨の影響が出だします。晴れを願いながら、同時に雨の対策もしっかりしておきましょう。